

グリーンスローモビリティについて

新しい交通システムによる移動支援の研究・検討を目的として、きものday結城の開催にあわせてグリーンスローモビリティの実証運行が実施されたが、今後の運行の可能性について伺う。

企画財務部長 移動手段としての役割だけでなく、体験型コンテンツとして観光の来訪動機になる可

能性もあり、魅力的な周遊コースを設定することで相乗効果が生まれると考える。運用については、結城市地域公共交通計画の中で、観光イベントとの連携の可能性も含め、関係者等と協議し、観光面での活用を主体として位置づけを検討する。



フレイルについて

高齢者が要介護状態になることを防ぐためのフレイル対策について、今後はどう取り組んでいくのか。

保健福祉部長 フレイルの判定ツールとなる基本チェックリストを市ホームページにも掲載するなど、フレイル予防の重要性の啓発に取り組んでいきたいと考えている。

グリーンスローモビリティの運用は観光面での活用を主体として検討を

スポーツができる公共施設を増やして欲しい



稲葉 里子
(いなば さとこ)

録画映像
はこちら



フレイルとは

加齢によって筋力や心身の活力が低下し、要介護状態になる手前の状態です。次のような自覚症状が出始めたらフレイルの危険サインです。

- ・半年で体重が数kg減った
- ・以前より疲れやすくなった
- ・歩く速度が遅くなった
- ・外出するのがおっくうになった

健康寿命を延ばし要介護状態へ進まないために生活を見直すことが大切です。

スポーツができる公共施設の利用について

公民館の利用（卓球）について。

教育部長 市立公民館の登録団体のうち、卓球は4団体あり、6月の予約割合は32%と占有率が高い状況である。多くの市民が快適に利用できるよう、利用者や公民館運営審議会の意見を伺いながら適宜、利用方法の見直しなどを検討していく。